

南房総市就農
ガイドブック

南房総で、 農業。

一般財団法人 南房総農業支援センター

南房総市の農業



南房総市は、千葉県南部の房総半島最南端に位置する自然豊かなまちです。三方を海に囲まれ、美しい海岸線は国定公園に指定されています。冬は暖かく夏は涼しい海洋性の温暖な気候で、びわやミカンなどの果樹栽培、食用ナバナや花卉の栽培、稲作などが盛んです。東京から車で約70～90分とアクセスがよく、都市部からの移住希望者の受け入れも積極的に行っています。

南房総市	
人口	33,117人 (R8.4.1)
農家戸数	2,592戸
耕地面積	3,480ha (34.8 km ²)
	(2020年農林業センサス)

南房総市の農産物



就農STEP

(一財)南房総農業支援センターでは、就農相談、研修生の募集、就農準備、就農後までをワンストップで支援します。



(一財)南房総農業支援センター窓口
(南房総市役所農林水産部フロア内)

STEP 1

就農相談・意志決定

南房総農業支援センターへ相談

南房総農業支援センターでは、南房総市で新規就農を目指す方へのワンストップ相談窓口を設けています。お電話やメール、対面での相談受付のほか、ホームページや農業フェア等での対応も行っています。まずはお気軽にご連絡ください。

就農の意思を決定する

農業を始める前に、ご家族と話し合いをすることも大切です。しっかり将来について話し合っただけ、農家になる意思を決定したら、具体的に就農への道筋を計画しましょう。

STEP 3

就農の準備

就農計画をたてる

就農に向けて、実現性の高い計画を立案します。

認定新規就農者になる

青年等就農計画を作成して申請し、市の認定を受けます。農業経営を開始してから5年以内の方が対象です。

資金の確保計画

自己資金のほか、認定新規就農者に認定されると青年等就農資金(融資)が利用可能です。

農地や機材、作業場の確保

農地中間管理機構を通じて、農地を借り受けることができます。また、機械等導入の支援制度や新規就農を目指す方を対象とした入居施設(三芳新規就農支援施設)もあります。

支援制度
有ります

支援制度
有ります

STEP 2

研修・農業知識の習得

南房総市の研修生に応募する

南房総市では、県の研修機関認定を受けている南房総農業支援センター及び市が指定する市内先進農家での研修を支援しています。

支援制度
有ります

農家で働きながら学ぶ

農業研修の方法には、農業法人等に就職し、働きながら農業の知識・技術を習得する方法もあります。

学校で知識・技術を習得する

千葉県立農業大学校(東金市)などで、農業の知識と技術を学ぶ方法もあります。

STEP 4

就農・就業

独立就農

経営者として独立して農業を始めます。独立にあたり、市の支援制度をご活用ください。南房総農業支援センターやJAでは技術指導も行っています。

支援制度
有ります

雇用就農

まずは農業法人等に就職し、知識と技術を得てから独立することも可能です。



【南房総市三芳新規就農支援施設】

新規就農を目指す方向けの、作業場(土間)が一体となった入居施設(全3棟)です。月額35,000円で最大3年間利用可能です。

就農支援制度

南房総市には、本気で農業に取り組む方に対し、就農準備から就農後までの様々な支援制度があります。



移住に伴う暮らしや支援情報は「南房総市移住・定住情報サイト」もご参考ください。



【国① 就農準備資金】 就農時49歳以下 (その他要件有り)

南房総農業支援センターで就農研修を受ける場合、生活費等支援として月額13.75万円を最長24カ月交付します。(県による審査があります。)

研修生募集中

南房総農業支援センターの研修生受入条件 (食用ナバナ・トウモロコシ・びわ等)

- ・ 研修終了時に45歳未満で、研修終了後1年以内に市内で独立または雇用就農し、将来にわたって長く農業を続ける意欲があること。
- ・ 申込時に南房総市に住んでおり、就農時にJA安房の組合員になれること。
- ・ 家族の同意を得ており、独立就農を予定する者にあつては、土地・機械等の投資に必要な最低限度の自己資金があること。



詳細はコチラ

【国② 経営開始資金】 就農時49歳以下 (その他要件有り)

市から青年等就農計画の認定を受けた新規就農者の方に、生活費等支援として月額13.75万円を最長36カ月交付します。

【国③ 経営発展支援事業】 就農時49歳以下 (その他要件有り)

市から青年等就農計画の認定を受けた新規就農者の方が機械や施設を導入する場合、最大750万円(国②経営開始資金を受給する方は375万円)の補助金を受けることができます。

【市① 就農研修支援事業 | 先進農家等研修】 55歳以下未就農者 (その他要件有り)

南房総市が指定する市内の先進的農家で研修を受ける場合、生活費等支援として月額5万円を最長24カ月補助します。

【市② 経営自立安定支援事業】 就農後3年以内60歳以下 (その他要件有り)

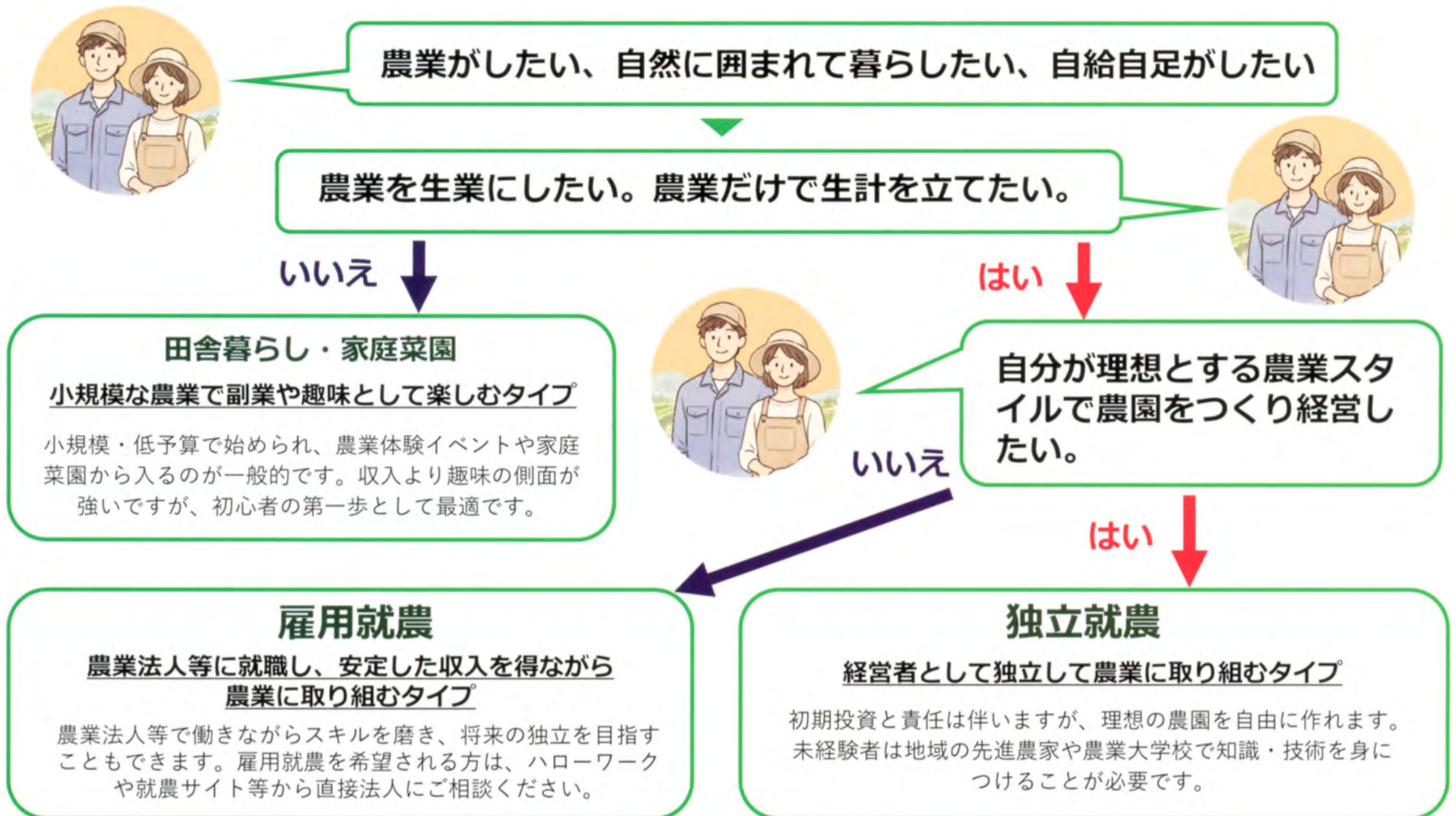
南房総市で営農を開始する新規就農者に対して、生活費等支援として月額5万円を最長24カ月補助します。

【市③ 就農初期投資支援事業】 就農後3年以内70歳以下 (その他要件有り)

新たに営農を始める新規就農者等(500㎡以上の農地確保が条件)の農業用機械や設備取得費用に対し、1件10万円以上の機械・設備導入につき3/10以内(補助限度額30万円)を補助します。

あなたの目指す就農スタイルは？

農業の取り組み方には様々なスタイルがあります。あなたが取り組みたい“農業”はどんなスタイルでしょうか。



就農の心構え

check 1 農業の現実を目を向けよう

- 当面の生活資金の備え** ⇒ 農業は収入が安定するまで数年かかることもあります。当面の生活費をしっかりと準備しましょう。
- 心身ともにタフに** ⇒ 農業は高度な知識だけでなく、体力と気力も欠かせない仕事です。
- 家族の支え** ⇒ 農業で成功するためには、家族の理解と協力が何よりの力になります。
- こだわりへの覚悟** ⇒ 有機農業や無農薬栽培は、高度な技術、土地ごとの農業経験、周囲の農家さんの理解が必要です。



check 2 あなたは「経営者」になります

- 起業する覚悟を** ⇒ ゼロからのスタートは設備投資も必要です。一人の経営者として自立する意識を持ちましょう。
- 総合的な経営力** ⇒ 機械・人手・販売先の確保など、農業には「作物を育てる」以外のマネジメント能力が求められます。
- 支援に対する責任** ⇒ 各種支援制度や補助金は市民の皆さんの大切な税金です。支援を受けている自覚を持ち、ルールを守って活用しましょう。

check 3 地域の一員として暮らす

- 不便さも楽しむ** ⇒ 豊かな自然の反面、都会のような便利さはありません。その環境を丸ごと受け入れましょう。
- 「お互い様」の精神** ⇒ 農村は助け合いで成り立っています。行事や対話を大切に、地域に馴染む努力をしましょう。



先輩就農者の紹介



青木真志さん 2023年 独立就農 | 富山地区 | 有機野菜 | 規模35a

都会での多忙な生活で体調を崩したことを機に、人生の後半は「自由に楽しく暮らしたい」と移住を決意。田舎暮らしを最大限に楽しむ手段として、健康的な生活が送れる農業を仕事に選びました。現在は「里山ファーム8」を立ち上げ、農薬・化学肥料不使用の少量多品目栽培を続け、旬の野菜を届ける「野菜ボックス」や直売所、地元飲食店への販売を軸に活動しています。今後も、地域に根ざした活動を広げていき、長く農業を続けていくことが目標です。まずはその土地へ足を運んでみてください。南房総は里山も海も近く、自然が濃い「ちょうどいい田舎」です。一步踏み出せば、素敵な出会いや新しい発見が必ず待っています。

青木さんのご紹介記事
(南房総市移住・定住情報サイト)



五十嵐大介さん・早矢加さん

2018年 独立就農・家族経営 | 白浜地区 | キンセンカ (カレンデュラ) | 規模45a

青年海外協力隊で訪れたキルギスでの自然と共生する自給自足に近い生活に魅了されたことが原点です。帰国後、キルギスの風景を象徴する花「キンセンカ (カレンデュラ)」の栽培を志し、日本一の産地であり、就農支援が手厚い南房総市への移住を決めました。現在は「ベレケの村」を立ち上げ、循環型農業で花や野菜を育てる傍ら、加工品を通じてハーブとしての魅力を広める活動や、ワークショップや花摘み体験も行っています。理想のイメージを持って相談すれば、市が親身に対応してくれます。小規模ならリスクを抑えて始められるので、初心者にもおすすめです。

五十嵐さんのご紹介記事
(南房総市移住・定住情報サイト)



吉田昌信さん・由起子さん 2024年 独立就農・家族経営 | 丸山地区 | パッションフルーツ | 規模14a

レースエンジニアとして多忙な日々でしたが、75歳まで現役で働き続ける将来を見据えて、早期のセカンドキャリア構築を決意しました。旅行先で魅了されたパッションフルーツの栽培を目指し、気候が温暖で支援体制も手厚い南房総市への移住・就農を選びました。まずは土作りを徹底し、高品質な「パッションフルーツ」や「イチジク」を安定して届けることが第一歩です。将来的には、農園「YYFARM (ワイワイファーム)」の名の通り人々が集い、食の楽しさや自然の豊かさを共有できる体験の場を提供することが夢です。事前のリサーチや研修を計画的に行えば、自分らしい農業の形が見えてきます。ぜひ一步踏み出してみてください。

吉田さんのご紹介記事
(南房総市移住・定住情報サイト)



就農相談窓口・サポート体制

南房総市就農相談窓口

一般財団法人 南房総農業支援センター

千葉県南房総市富浦町青木28番地
(南房総市役所本庁 別館 2階 農林水産部フロア内)

TEL 0470-28-4595 受付時間 8:45-17:00 (土・日・祝日除く)

ホームページからもお問い合わせ可能です <http://masc.or.jp>



農地利用集積円滑化・農業総合相談・農作業受委託
農業経営事務支援・営農及び農業者等研修

南房総市

就農相談
就農者支援制度
移住支援 他

安房農業 事務所

栽培技術指導
営農指導
補助事業相談 他

JA安房

栽培支援・販売先確保
農業用資材
資金計画提案 他

